

安全データシート (SDS)

1. 物質または混合物等及び会社情報

製品名 : デービーアタック SE

製品の名称 : シアノアクリレート系反応形接着剤
製造会社名 : ダイアボンド工業株式会社
住所 : 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 4085
担当部門 : 品質管理課
電話番号 : 046-285-0985
Fax 番号 : 046-286-4292
メールアドレス : dbtec@dbbond.co.jp
緊急連絡先 : 046-285-0985 (担当部門に同じ)
推奨用途及び使用上の制限 : 接着用途に限る

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体	区分 4
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	区分 3

ラベル要素

絵表示



注意喚起語	: 警告
危険有害性情報	: 可燃性液体 : 眼刺激 : アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ

注意書き [安全対策]

: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
: ミスト、蒸気の吸引を避けること。
: 取り扱い後は水/石鹼水でよく洗うこと。
: 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
: 汚染された作業着は作業場から出さないこと。
: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

[応急措置]

: 火災の場合、消火のために粉末消火剤、炭酸ガス、泡消火剤、乾燥砂を使用すること。
: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
: 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続

けること。

：眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当てを受けること。

：吸引した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

：気分が悪いときは医師に連絡すること。

[保管]

：換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。施錠して保管すること。

[廃棄]

：内容物/容器を都道府県の規則に従って廃棄すること。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

化学名又は一般名：シアノアクリレート系接着剤

主成分：シアノアクリレート

成分及び含有量

化学名又は一般名	CAS No.	PRTR 法				労働安全衛生法		含有率 (%)
		特定一種	一種	二種	非該当	該当	非該当	
2-シアノアクリル酸エチル	7085-85-0				○	○		90~100
合計								100%

4.応急処置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：無理にはがさず、お湯の中でゆっくりもみほぐしながらはがす。
または、専用のはがし液やアセトンを使用する。

眼に入った場合：清浄な水で繰り返し洗浄し、眼科医の手当を受ける。
眼をこすったり、はがし液やアセトン等の溶剤は、絶対に使用しないこと。

飲み込んだ場合：直ちに医師の手当を受ける。

5.火災時の措置

消火剤：粉末消火剤、炭酸ガス

特定の消火方法：燃焼の際は、火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却する。
消火作業は風上から行う。

消火を行う者の保護：消火作業の際は適切な保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業の際には保護マスク、保護手袋、保護眼鏡などの保護具を着用し、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。

環境に対する注意事項：公共水域への排出、または地下浸透を防止し、環境への影響をおこさないよう注意をする。

除去方法：漏出源を取り除き漏れを止める。漏出した接着剤は保護手袋（ポリエチレン

製) を着用して布などで少量ずつ拭き取る。布などに多量の接着剤がつくと急速に重合して発熱することがあるので注意する。

二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 適切な保護具（暴露防止及び保護措置の項を参照）を着用すること。
換気設備を設けること。
着火源の周辺での使用を避けること。

注意事項 : 皮膚を瞬間かつ強力に接着するため、使用に際しては十分注意すること。
取扱い場所周辺は蒸気が滞留しないよう換気に配慮し、火気厳禁とする。
ミスト、蒸気の吸入を避けること。

安全取扱い注意事項 : 取扱い後は手、顔等を良く洗い、うがいをする。

保管

技術的対策 : 容器を密閉して保管する。火気厳禁とする。

混触禁止物質 : 水、アミン等の塩基性物質との接触を避けること。

適切な保管条件 : 直射日光を避け、湿気の少ない5℃から23℃の屋内で保管すること。

安全な容器包装材料 : 当該物質に用いる専用のポリ容器以外の使用を避けること。

8.暴露防止及び保護措置

暴露限界値 : 2-シアノアクリル酸エチル0.2ppmACGIH TLV-TWA（2005年版）
ヒドロキノン 2mg/m³ ACGIH TLV-TWA(2005年版)

設備対策 : 室内で取扱う場合は、局所排気装置又は全体換気装置を設置することが望ましい。または、蒸気が滞留しないように十分な措置を施すこと。

保護具

呼吸器の保護具 : 簡易マスク。

手の保護具 : 保護手袋(ポリエチレン製)。

目の保護具 : 保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 長袖、長ズボンの作業服、保護用前掛け、保護帽、保護靴。

衛生対策 : 保護具は保管場所を定めて保管し、清潔なものを使用する。
: 取扱い場所の近くに手洗い、洗眼、うがい等の設備を設け、その位置を明示する。

9.物理的及び化学的性質

物理的状態

形状 : 液体（20℃中）

色 : 無色～淡黄色

臭い : 特有の刺激臭

pH : 測定できない

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲

沸点 : 185℃

融点 : <0℃

引火点 : 80℃

発火点 : 490℃

爆発特性 : データなし。

蒸気圧	: 1Pa(25°C)
蒸気密度 (air=1)	: データなし。
比重	: 0.9~1.1 (23°C)
溶媒に対する溶解性	: 水に不溶。

10.安定性及び反応性

安定性	: 一般的な温度、気圧下においては安定である。
特定条件下で生じる危険な反応	: 水やアミン等の塩基性物質に接触すると急速に重合し、かなり発熱する。
避けるべき条件	: 着火源。水、塩基性物質との接触厳禁。
危険有害な分解生成物	: 燃焼等によって CO ₂ , CO 及び NO _x を発生する恐れがある。

11.有害性情報

急性毒性	: 経口[2-シアノアクリル酸エチル] LD50 >5,000mg/kg (ラット) : 経皮[2-シアノアクリル酸エチル] LD50 >2,000mg/kg (ウサギ) : 吸入[2-シアノアクリル酸エチル] データなし
皮膚腐食性・刺激性	: 皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: [2-シアノアクリル酸エチル] 眼刺激
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: [2-シアノアクリル酸エチル] アレルギー性皮膚反応をおこすおそれ
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	: [2-シアノアクリル酸エチル] 呼吸器への刺激のおそれ (気道刺激性)
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

12.環境影響情報

生体毒性	: 混合物としての知見無し
残留性・分解性	: 混合物としての知見無し
生体蓄積性	: 混合物としての知見無し
土壌中の移動性	: 混合物としての知見無し

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄する場合は、液を少量ずつ直射日光に当てるか、又は多量の水の中に徐々に滴下し、かき混ぜながら重合し、完全に固化したことを確認した後、関連法規並びに地方自治体の基準に従い廃棄をおこなうか、都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方自治体が行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び梱包	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14.輸送上の注意

物質の詳細な含有情報をご要求頂く事が増えております。本シートはこのようなご要求にお答えして、SDSを補完する目的で作成しました。

[製品中の特定の化学物質含有調査]

主要海外法規の規制物質を中心に調査いたしました。

物質群名	使用の有無	分析値
カドミウム及びその化合物	無	
六価クロム化合物	無	
鉛及びその化合物	無	
水銀及びその化合物	無	
TBT類、TPT類	無	
TBTO	無	
塩化パラフィン(短鎖)	無	
PBB類	無	
PBDE類	無	
PCB類	無	
ポリ塩化ナフタレン(塩素数が3以上)	無	
アスベスト類	無	
特定アゾ化合物	無	
オゾン層破壊物質	無	
放射性物質	無	
ホルマリン	無	

* 意図的に添加したことでの使用の有無を記載しました。

* 分析をおこなっている物については分析値として記載しています。

[その他] 以下の国内法上管理要求されている物質の含有量は安全データシート(SDS)を参照下さい。

◎化管法 ◎安衛法(通知対象物質) ◎毒劇法(毒劇物)

本製品は下記国内法で製造・輸入を禁止されている物質を意図的に添加していません。

◎ 化審法(第1種特定化学物質) ◎安衛法(製造禁止物質) ◎毒劇法(特定毒物)